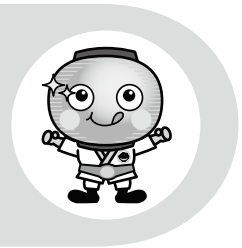


戸畑区にのこる史跡を たずねてみよう！



① お馬橋



とばたけいさつしよまえ てんらいじがわ はし むかし まきやま
戸畑警察署前の天籟寺川にかかる橋です。昔、牧山の
あたりは**ぼくじょう** 牧場だったといわれています。
まきやま ぼくじょう そだ うま てんらいじがわ はし わた かくち
牧山の牧場で育った馬は、天籟寺川の橋を渡って各地
におく に送られました。そのなごりをとどめたのが、この橋の
なまえ はし
名前です。



へいあんじだい うじがわ
平安時代におきた**うじがわ**
かつせん いちばんの めいば
の合戦で一番乗りをはたした名馬
「するすみ」は、この牧場で育ったといわれ
ています。「するすみ」には、わかまつ う
いはうま わか かな どうかいわん およ
いった母馬との別れを悲しみ、洞海湾を泳い
はは あ い つた
で母に会いに行ったといういい伝えが
のこっています。

② 菅公御手洗の池

へいあんじだい すがわらのみちぎね きょうと だざいふ とちゅう
平安時代、菅原道真(※)が京都から大宰府に行く途中、
てんらいじ と て あら つた
天籟寺に泊まったときに手を洗ったといういい伝えの
いけ
ある池です。



いけ みず すみ じ
この池の水で墨をすり、字を
か しゅうじ じょうず
書くと習字が上手になるといわれて
います。



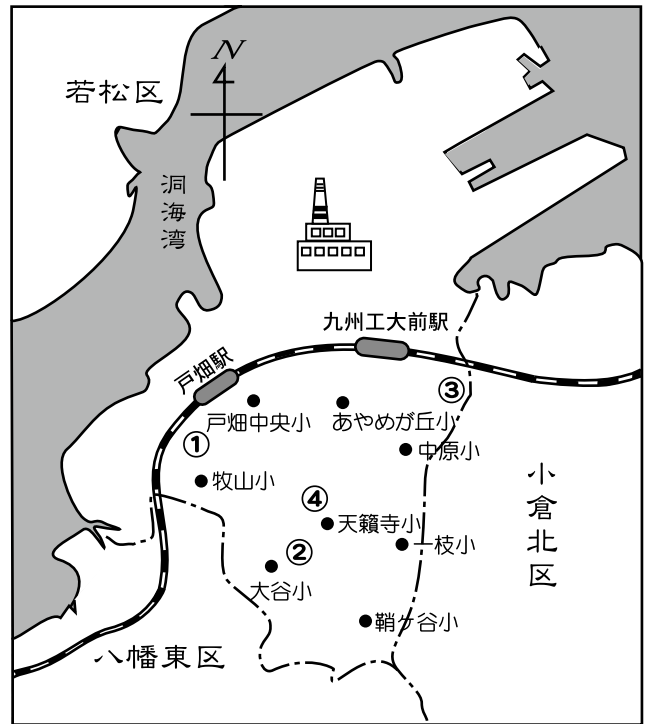
すがわらのみちぎね ねん ねん へいあんじだい きぞく がくしゃ がくもん かみさま
菅原道真 (845年～903年) …平安時代の貴族ですぐれた学者。「学問の神様」といわれてお
り、太宰府天満宮にまつられています。

③ 孝子森惣市

いま ねんまえ なかばる もりそういち
 今からおよそ300年前、中原に森惣市とい
 ひと う すなお
 う人がいました。生まれつきおとなしく素直
 ちち はは き べんきょう しゅ
 で、父や母のいうことをよく聞き、勉強も修
 ぎょう いっしょうけんめい
 業も一生懸命にしていました。

おやこうこう とのさま
 親孝行ぶりがすばらしかったので、殿様の
 くるだつなまさこう
 黒田綱政公からほうびをもらうほどでした。

なかばるはちまんぐう いま こうし もりそういち せき
 中原八幡宮には、今も孝子(※)森惣市の石
 ひ
 碑があります。



こうしもりそういち せきひ
 孝子森惣市の石碑



なかばるはちまんぐう
 中原八幡宮



こくら
 小倉におつかいに行く
 ちち はは
 とき、父からはぞうりを、母からは
 げた い こま
 下駄をはいて行くようにいわれ、困った
 そういち かたほう こくら い
 惣市は、片方ずつはいて小倉に行っ
 たそうです。

④ 天籟寺の六地藏・天賀城



むかし すがわらじんじゃ まえ すがわらこうえん てんがじょう しる
 昔、菅原神社の前にある菅原公園に「天賀城」というお城
 つた
 があったと伝えられています。

しる あるじ てんがじろうさぶろうながゆき ねん てんしょうねん おおとも
 この城の主、天賀二郎三郎永行は1581年(天正9年)に大友
 し こうげき かしん ぜんめつ ひめさま
 氏から攻撃され、家臣(※)は全滅しました。お姫様とおつきの
 じよせい に とちゅう じがい
 女性も逃げましたが、途中で自害(※)しました。その後、お姫
 さま れい じぞうさま
 様たちの霊をなぐさめるために、お地藏様がつくられました。

おお じぞう ひめさま かお
 大きな地藏がお姫様かな。顔にお
 べつめい
 しろいをぬっているの、別名「おしろい
 じぞう
 地藏」ともよばれているんだよ。



こうし おや そんけい こ おや
 孝子…親を尊敬し、よくつくす子。親のいづけをよくまもる子。
 かしん いえ つか けらい じがい じぶん いのち た
 家臣…家に仕える家来。 自害…自分で命を絶つこと。